

# Okta Identity Governance

アイデンティティ / アクセス管理 (IAM) とガバナンスの統合 SaaS ソリューションが、企業のセキュリティ態勢を改善し、最新のリスクを緩和し、効率を向上させます。

## Okta Identity Governance を選ぶ理由



**重要リソースへのアクセスの保護、管理、監査を効率的かつ効果的に実現：**以下のような、従来の手作業によるアイデンティティガバナンスソリューションの問題を排除します。

- ワークフローが複雑で硬直化している
- エンドユーザーエクスペリエンスが分断される
- 人的エラーのリスクがある
- IT の生産性が低下する



**セキュリティの強化：**管理されていないアイデンティティ、不適切なアクセス、アクセスの蓄積などのリスクを低減し、重要リソースの安全を確保します。

- サインインの頻度、最終アクセス日などのコンテキスト情報を活用して、より有意義なアクセス認定を実現できます。
- アクセス権を検証し、適切なユーザーだけが適切なリソースにアクセスできることを明確に証明することで、業界の監査に迅速に対応できます。



**従業員の生産性向上：**新入社員が初日から高い生産性を発揮できるように、業務用アプリケーションへのアクセス権をプロビジョニングする一方で、必要以上のアクセスのプロビジョニングを回避するので、セキュリティと生産性のバランスを実現できます。

- Slack などの業務コラボレーションツールを使用した、Okta 対応のあらゆるリソースへのセルフサービス型アクセスリクエスト機能をユーザーに提供できます。

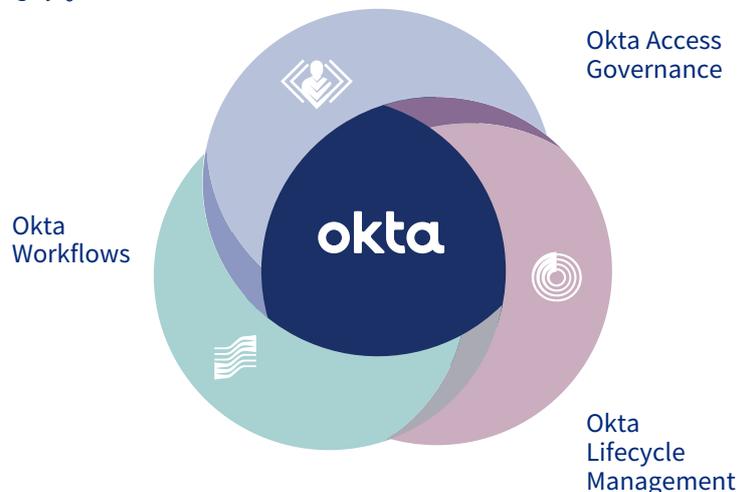


**IT の効率化：**アクセスの修復とプロビジョニングのタスクを自動化し、手作業に伴うコストとエラーを削減します。

- 自動の承認ワークフローを使用して機密データ / ツールを保護しながら、必要なユーザーにセルフサービス型アクセスを提供します。
- ユーザーが組織内で異動する場合や、一時的なプロジェクトに参加するのに伴って、ソフトウェアライセンスの無秩序な増大が生じることがあります。このような状態に伴うコストを削減できます。
- Okta のシンプルな 5 ステップのプロセスを使用することで、簡単にアクセス認定キャンペーンを作成し、サードパーティアプリでの修復を自動化できます。

## Okta の仕組み

Okta Identity Governance を構成する 3 製品を利用することで、ガバナンス、リスク、コンプライアンスの各チームは、アイデンティティライフサイクル全体でアクセスのフルフィルメントとエンタイトルメントのタスクを簡素化できます。



新しい Access Governance は、ソリューションの中心的な役割を果たし、アクセス管理タスクを簡素化します。必要なときに、必要なユーザーが、適切なリソースにアクセスするための管理を提供します。Access Governance には、3 つの重要な機能があります。

- **アクセスリクエスト**は、アプリケーションやリソースへのアクセスリクエストのプロセスを簡素化し、自動化します。使用ツールを問わずユーザーのニーズに対応するため、コラボレーションツールと緊密に統合されたセルフサービス機能を提供します。合理的で摩擦のないアプローチにより、ユーザーのリクエストを 1 人以上のレビュアーに自動的に転送して承認を促進し、アクセスのプロビジョニングを自動的に実行できます。
- **アクセス認定**キャンペーンが提供するシンプルなプロセスを利用することで、重要なリソースへのユーザーのアクセスを定期的にレビューし、アクセスを自動的に承認または取り消すための監査キャンペーンを作成できます。こういったプロセスは、従業員がアクセス権を蓄積しないようにし、リソースを必要とするユーザーだけがアクセスできるようにする上で重要です。
- **すぐに使えるレポート機能**を活用することで、監査やコンプライアンス要件に対応できます。過去の認定キャンペーンについて、期間や含まれるリソースなどの概要を共有できます。または、参加したユーザーや修復状況など、より詳細な情報を追加することも可能です。さらに管理者は、誰がどのリソースにアクセスできるか、誰がアクセスを承認したか、アクセスがどのように付与されたか、といった監査も提供できます。

Okta Lifecycle Management は、人事システムと IT システムの統合を事前に組み込んで提供します。これにより、従業員の情報とステータスを、IT アプリケーションと自動的に同期できます。従業員の入社、異動、退職に合わせて、IT がアプリケーションやアクセスの割り当て、アップグレード、取り消しを自動的に実行することで、生産性を向上させ、データ損失を防止できます。また、攻撃対象領域の拡大につながる孤立アカウントも排除できます。

Okta Workflows は、組織それぞれに固有の複雑なアイデンティティガバナンス要件に対応するため、必要な拡張性とカスタマイズ性を提供します。コードを一行も書くことなく、アイデンティティプロセスの大規模な自動化を容易に実現します。IFTTT (if-this-then-that) ロジックに基づき、Okta の事前組み込みコネクタライブラリを使用し、一般公開されている API に接続することで、社内の誰でも革新的なソリューションを作成できます。

---

## Okta について

Okta は、アイデンティティ管理を主導する独立系プロバイダーです。Okta Identity Cloud によって、適切なユーザーが適切なテクノロジーに適切なタイミングで安全に接続できます。Okta は、全世界の人々と組織にシンプルで安全なアクセスを提供し、自信をもって潜在能力を最大限に発揮できるよう支援しています。詳しくは [okta.com](https://okta.com) をご覧ください。